

## 平成30年度 第1回 苫小牧市文化財保護審議会 会議概要

日 時：平成31年3月19日(火) 10:00 ～ 11:00

会 場：苫小牧市役所第2庁舎 2階北会議室

出席委員 蓑島会長、蓼沼副会長、阿部委員、白木委員、鈴木委員、丹波委員、山岸委員  
計7人(10人中)

欠席委員 一谷委員、坂田委員、丹波委員

教育委員会(事務局) 教育部 瀬能部長

生涯学習課 白川課長、田中主査、斉藤主任主事

---

・ 開 会

・ 議 事

### 1 平成30年度文化財保護事業の報告

(事務局から報告)

<主な質疑>

委 員：台風28号の倒木伐採について、台風が来る前に予算を組んであるのでしょうか。

事 務 局：予算については予測して付けている訳ではなく、当初予算ではなく、修繕費より移し替えた予算となっております。

委 員：修繕費の予算は、今回震災があつたりして余計にかかりそうなのですが、これだけ抑えられているというのは、もともと予定されてなかったけど予備のためにあつたのか、それとも、何かする予定だったものをしなかったのでしょうか。

事 務 局：修繕費は緊急修繕費ということで、計画的に修理していくというものも含まれておりますが、基本的には何か起きた時に対応できる予算として組んでおります。今回はこの台風の関係がメインになりまして、ギリギリまで色々と選択しながら行っておりましたが、最終的には抑えられるような形になっております。

委 員：傷害保険の金額が大幅に減っているが、格安のものに加入するなどで経費を抑えられたのでしょうか。

事 務 局：前年度まで使っていた会社が利用できなくなったので、他の保険会社を探して確認した結果、経費を抑えることにつながりました。新年度も、こちらの保険を使うことを考えて、予算組みをしております。

委員：先ほど、予期していなかったことを予算化するため、他の科目に予算を付け替えたという話がありましたが、当初なかったものを予算化してしまうのはいかなもののでしょうか。本来は審議会を開催し補正予算として審議するべきで、それが出来ないなら予備費をつけるなど対応すべきではないか。そもそも、今の決算書の表記では経過がわからないので、そこは今後修正すべきでは。

事務局：年度内で流用という形をとっているのですけれども、表記の仕方として、経過がわかるような決算見込の報告であればよいということですね。

委員：そうです。

事務局：緊急時のたびに審議会を開くというのはなかなか大変ですから、今回のようなことがあった際には、わかるような形で決算見込を表したいと思います。

委員：当初にない予算は0にして、決算を計上し、備考のところに需用費より流用と書いたらよいのではないのでしょうか。

事務局：来年度以降わかるような形で記載したいと思います。

## 2 平成31年度文化財保護事業の予算について (事務局から説明)

### <主な質疑>

委員：31年度の予算は、先ほどの30年度決算見込額を載せた方がわかりやすいのではないのでしょうか。

事務局：確かに決算を参考にして予算を作成しておりますので、こちらの見せ方について、検討させていただきたいと思います。

委員：決算見込と比較するならば、修繕費85万の根拠はどこから来ておりますでしょうか。

事務局：先ほどの修繕費と、緊急で行った倒木伐採、照明灯の含有調査の3つの項目になります。

委員：この中に収入が出てこないですね。

事務局：市の場合ですと、収入は大きな枠組みで、文化財としての収入はありませんので、支出のみの報告となっております。

委員：本来であればこれだけの収入があるから支出ができるようになるのですけれども、それがわからなければ文化財予算としてどれだけ使えるから、こういったことを取り組もうなどといった議論ができないのではないのでしょうか。

事務局：市の予算組みは来年度こういう事業をしたいという予算要求をして、あとは緊急性として必要かどうか等を財政担当が判断します。例えば、新しいPR看板等を作りたいという要求をしても、まだ古いものが使えるのではないかというのは財政課の査定になります。

委員：今の時期に、私たちが看板を欲しいといっても来年度はどうしようもないのですよね。

事務局：31年度事業は予算が決まってしまったので変更はできません。ただ、32年度予算に向けては、市の予算は8月くらいから検討が始まるものですから、要望がありましたら、是非この場でしていただければ、我々も取り組めるのではないかと考えております。

委員：公的な資料として、数字が違っているとよろしくないと思うのですよね。決算書も書き方の問題で、需用費に入れてしまえば、85万円に近い数字になると思うのですよね。そのような書き方の方がよくて、あと、費目ごとにマイナスが出てかまわないと思うのですよね。これだけの予算を組んだけれども、この費目は突発的なことがあって多くかかりましたが、この費目は節約できて、差引としては、赤字にならないように処理しましたよという書き方をして、30年度のところは決算見込を記載しておけば、この案に近いような予算の組み方ができるのではないかと思います。

会長：今日のご指摘をまとめますと、無理に表裏1ページにまとめる必要はなくて、見やすく正確に記録していただければと思いますので、ご検討をお願いいたします。

委員：もう1点、委託料の予算の違いがあるのですが、明治天皇行幸後の予算は7箇所全体の費用になりますでしょうか。

事務局：ここは御前水のみになりますが、点検箇所や修繕などの材料費等などの様々な要因がありますのでご理解願います。

委員：委託料が2割以上増えているのですが、根拠はありますか。

事務局：増えている要因は草刈業務になります。数年前から人件費が上がったりしておりますので値上げの話があったのですが、数年頑張っていた結果、もう限界ということで値上げとなっております。

委員：支出が増になっているのであれば、本来であればどこかが減になるのかと思いますが。

事務局：緊急性のある修繕費等はそのままでということで財政と協議しておりますが、市全体ではやはり見えない部分がございますので。

委員：決算ですが、わかりやすいように前年度との対比もつけていただきたいです。

会長：今後の資料作成の時にご留意いただければと思いますが、よろしいでしょうか。

- ・ その他

委員：苫小牧の文化財に掲載しているものなどを美術博物館で見る機会を作ってほしい。

会長：このような希望があったということでお伝えいただければと思います。

事務局：所有者がそれぞれありますので、美術博物館等と連絡をとっていきたいと思います。

(その他、事務局より来年度の委員改選について説明)

- ・ 閉会